

芳野議員ご提出資料



連合の考えと取り組みについて

連合の考え

- ハローワークにおける、就職氷河期世代への伴走型支援については、当事者やその家族の状況やニーズを丁寧に把握し、支援体制の充実と関係機関との連携強化を図っていただきたい。
- 就職氷河期世代の賃金課題については、男性のみではなく女性の賃金カーブも検証し、都市と地方の違いや、婚姻状況なども含めたデータを考慮した客観的な現状把握が必要である。
- 老後・年金に不安を感じる者は男性より女性が多いとのデータもあることから、高齢期を見据えた支援については、性別なども含め多岐にわたる当事者実態があることを踏まえての支援をお願いしたい。
- 生活困窮者自立支援制度の各事業については附帯決議を踏まえ、事業の継続性確保や支援員の処遇・専門性の向上に向けた予算確保など、政府による実施自治体への支援を強化する必要がある。

連合の取り組み

- 連合・地方連合会などによる「**なんでも労働相談ホットライン**」の実施(次頁:当事者の声引用)
- 地域における「良質で安定的な雇用の創出・確保」に関する取り組み協力(厚生労働省:**地域活性化雇用創造プロジェクト**への参画)
- 連合「**重点政策**」に盛り込み、省庁等へ各種要請行動を実施。あわせてHPにおいて当事者支援の取り組みについて広く周知を行っている。

連合
日本労働組合総連合会

Google 検索

労働のことで困ったら、こちら

連合について
ニュース
インフォメーション
主な活動
刊行物・季刊RENGO
労働相談

ホーム 主な活動 労働・賃金・雇用 雇用・労働に関する取り組み 就職氷河期対策

労働・賃金・雇用

シェアする 印刷

就職氷河期世代とは

いわゆる「就職氷河期世代」とは、概ね1990年半ば～2000年半ばに学校卒業を迎えた世代です。この世代は、雇用環境が厳しかった時期に就職活動を行いました。希望する就職ができず、現在も不本意ながら不安定雇用や無業状態にある場合が多く、内閣府の資料によると、支援対象者は約100万人と見込まれています。

労働・賃金・雇用

- > 審判（審判生活競争）
- > 最低賃金
- > 労働時間
- > 不払い残業
- > 過労死（過労死等ゼロに向けた取り組み）
- > 労働保険・社会保険の加入

V 雇用・労働に関する取り組み

連合HP:就職氷河期世代支援に関する取り組みページ



連合「なんでも労働相談ホットライン」 に寄せられる当事者の声

対象期間：2024年11月～2026年9月

- ようやく施工管理の職を得たが、契約社員であるため、当面はアルバイトとのダブルワークでしのごうと考えている。施工管理で求められる資格が多岐にわたっており、資格取得をどのように進めたら良いか困っている。(本人/年齢不明)
- 就職氷河期時代に生まれた典型的な年代。現在無職だがハローワークに行っても仕事が見つからない。どうすれば良いか。(本人/40代)
- 就職氷河期から非正規で就労していたが、ようやく正社で雇用された。しかし、ガンに罹患してしまい、現在治療を受けているが、現在の仕事を辞めたくない。(本人/年齢不明)
- 会社から解雇を告げられた。就職氷河期世代としては、正職員としての就職は無理ではないかと考えている。今後は、パートタイムでのダブルワークなどを考えていく。(本人/40代)
- 娘が就職氷河期世代で、10年勤務しているが非正規のまま。(親/年齢不明)
- 自分は就職氷河期世代でずっと差別を受けてきた。若い人は守られていると感じる。(本人/40代)

なんでも労働相談ホットライン

“働くこと”“組合づくり”などのご相談は連合まで。

各種相談窓口・支援制度一覧

Q&A よくある労働相談Q&Aコーナー

働くことで困ったらご連絡ください。

フリーダイヤル いこうよ れんごうに
0120-154-052

下のボタンを押しても、質問を開始することができます！！

労働相談はこちら
24時間受付中

労働相談はこちら

▶質問はこちらから

※お問い合わせは、必ず会員登録をお願いします。

（注）本サービスは、労働相談専用ダイヤル（0120-154-052）です。

連合「なんでも労働相談ホットライン」について：

- 電話/メール/LINE/チャットボットにて全国あらゆる相談に対応。
- 年間約2万件の相談が寄せられている。
- さらにチャットボットを活用し、日本語を含む全14言語にも対応。